



アドビシステムズ社、 最新の Acrobat X ソリューションを発表

組織全体の生産性を向上し、
伝達力のある文書の作成・レビュー・共有が容易に

【2010年10月18日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：クレイグ ティーゲル (Craig Tegel)、以下、アドビシステムズ）は Adobe® Acrobat® X (アドビ アクロバット テン)、 Adobe Reader® X、Adobe Acrobat X Suite の提供開始を発表しました。アドビストア (<http://www.adobe.com/jp/store/>) では、本日より予約受付を開始します。また、オンラインサービスである Acrobat.com 上でファイルのやり取りを可能にする新サービス、Adobe SendNow (無償) の開始をあわせて発表しました。この新しいサービスによって、画期的かつ高品質なコンテンツを作成し、急速に変化し、多様性が求められるビジネス環境で、組織の枠を超えた緊密なコラボレーションと生産性向上が実現可能となります。

IDC 社アナリストのメリッサ ウェブスター (Melissa Webster) 氏は、「企業は現在、さまざまな時間帯、言語、部門などにまたがった横断型の体制をとり、顧客やパートナーとコミュニケーションしながら連携する必要があります。他者と協力しながらコンテンツを作成していくことは、情報を活用し、送信、共有していくことにとって必要不可欠です。こうした機能は、もはや今日のビジネスの成功には欠かせないものとなっています」と述べています。

Acrobat X は、新機能「アクションウィザード」を採用することで、文書作成とパブリッシングの様々なプロセスを簡素化できるだけでなく、革新的な PDF ポートフォリオのカスタマイズ機能によってさまざまな種類のファイルを束ね、わかりやすく見栄えのよい情報伝達が可能となります。また、Acrobat.com で提供される最新のサービスや、Microsoft SharePoint との連携により、企業全体で一貫して PDF を活用できるようになり、今まで以上に効率的なコラボレーションが可能になります。また、より高品質なファイル書き出し機能により、コンテンツの再利用が簡単になりました。

Acrobat X の主な新機能

- アクションウィザードにより、ワークフローの様々な段階において、日常頻繁に使う作業を自動化。関係者間での共有が簡単になるだけでなく、Acrobat の使い方についてのトレーニングの負担も軽減。
- 最新のレイアウト、ビジュアルイメージ、カラーパレットを使用した PDF ポートフォリオにより、コンテンツやコンテキストの表示、印象、操作を一変。
- 新たに加わった Acrobat X Suite により、Adobe Photoshop と Adobe Acrobat の処理性能を最大限に高め、より伝わるコミュニケーションを容易に実現。デスクトップから直接、デジタルコンテンツを素早くキャプチャ、編集、統合。
- Microsoft SharePoint との最新の連携機能により、PDF ファイルを Acrobat 内から直接チェックイン、チェックアウトして共有文書のレビューと編集することにより組織全体での生産性を向上。

- Microsoft SCCM や SCUP をサポートすることにより、大規模組織での Adobe Reader X と Acrobat X のアップデートパッチの展開、構成、管理プロセスを合理化することにより ISO 基準に準拠。
- 新しいユーザーインターフェイスにより、頻繁に使用されるすべてのツールを 1 つのウィンドウ枠で表示することで、容易な操作を実現。

Adobe Reader X の新機能

- コメント機能が付加され、付箋のようにコメントを記入できる「ノート注釈ツール」と、強調表示させる「ハイライトツール」を利用可能
- Android、Windows® Phone 7、Blackberry Tablet OS 向けの無償の Adobe Reader X により、PDF が携帯端末でも利用可能
- 最新の保護モード機能により、Reader X における PDF ファイルの安全な閲覧を保証

Acrobat.com による最新サービス

- 使い勝手のよい最新の Acrobat.com サービスの一つである Adobe SendNow により、大規模ファイルの送受信と受領証明による追跡が可能となり、電子メールゲートウェイへの負荷や複雑な FTP サーバーの操作、急送便の高コストなどを軽減
- Adobe Reader X 操作画面内や Web ブラウザから、ファイルをプロ仕様の PDF 文書へと容易に変換する Adobe CreatePDF

※製品の詳細については http://www.adobe.com/go/acrobatx_announce_jp をご覧ください。

今回の Acrobat X の発表にあわせ、Acrobat を導入・活用し、業務の効率化を進めている多くの企業からのコメントを以下に紹介します。

中外製薬株式会社 開発薬事部 サブミッション G の竹内 泰雄氏

「中外製薬は、革新的な医薬品とサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、世界の医療と人々の健康に貢献することをミッションとし、日々、患者さん中心の医療の実現に向けた取組みを行っています。中外製薬では、医薬品の承認申請に提出する書類作成や、提出前に行うチームでの校閲作業に、Acrobat を活用しています。Acrobat は、PDF を作成・加工する上で非常に優れた機能と高い信頼性を持ち合わせているので、作業の正確性、効率化、迅速性に役立っています。最新バージョンである Acrobat X では、Word や Excel への書き出し機能が改善されたこと、スキャンした文書と OCR 機能が強化されたことなどから、より一層の作業効率化が期待できます」

清水建設株式会社 情報システム部 システム運用グループ 課長の山本 勲氏

「建物を 1 つ建てるには多量の設計図が必要となります。また建設工事にはお客様、設計士様、多種多様な施工業者様に関わりますが、これらの関係者と設計図を円滑に共有する必要があります。また、今日、設計図は CAD で作成されますが、これを全ての関係者と共有するには CAD データを設計図に変換する必要があります。さらに、建物の寿命は永いので設計図も数十年間保管する必要があります。以上のニーズに対応するため、弊社では、Adobe Acrobat を活用しています。以前は、紙に印刷した設計図を関係者と共有し、保管しておりました。しかしこの方法では、紙の保管コストに加えて、差し替えや配送などの管理コストがかかっていました。今日では、Acrobat を活用することで、コスト削減だけでなく、品

質が高く安定した PDF ファイルを関係者とスムーズに共有できるようになりました。また Acrobat は、国際標準化機構（ISO）により策定された PDF の仕様にも準拠しているため、長期保存用途にも活用しています。今回新たにリリースされる Acrobat X では、ユーザーインターフェイスが新しくなり、以前より PDF の業務活用が促進されること、また、PDF ポートフォリオ機能が強化されたため、設計図以外の関連ファイルも含み一つの PDF にして管理しやすくなる、と期待を寄せています」

TOTO 株式会社 機器事業部 機器企画部 機器事業推進グループの小俣 英夫氏
「バス、トイレ、キッチンなど『まいにち必ず使うもの』『みんなが必ず使うもの』を提供する TOTO は、商品・サービスの継続的な提供を通じてあらゆるお客様の更なる満足の確保、維持、向上に努めています。TOTO では、お客様が製品をお選びになる際にご利用いただくカタログの社内校閲作業に Acrobat の『共有レビュー』機能を利用しています。物理的に離れた拠点ともリアルタイムに 1 つのデータ上で確認作業が行えるため、校正作業時間が短縮でき、作業負担の軽減、紙出力の削減も実現できました。コスト削減だけでなく、環境問題への取り組みにも効果を発揮しています。新しい Acrobat X では、ユーザーインターフェイスが改良され、よりわかりやすくなったことから、作業効率が向上すると期待しています」

株式会社日本ユニテック 営業部 課長の中山 孝太郎氏
「当社は、製造・出版・保険業を中心としたお客様に対し、ドキュメントの制作や管理を行うための XML パブリッシングソリューションを提供しています。お客様は、PDF を単なる電子化された印刷データとしてはなく、修正指示や履歴、承認といったワークフローを効率化する有機的なデータ形式として活用したいと考えておられます。当社では、そうした PDF の活用に関与するツールとして Acrobat を活用してきました。また、最近では、電子化されたデータを既存のデジタルアセットと統合し、横断的なコンテンツ管理を実現する提案を求められることも多くなってきました。Adobe Acrobat X の魅力的な特長である、使いやすくなったユーザーインターフェイス、製作と進捗管理を円滑に行える共有や注釈機能、デジタルアセットの統合を円滑にする PDF ポートフォリオ機能などが、そのような提案に応えられるものとして期待しています」

日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社 情報技術グループ 主任技師の大政 良昭氏
「弊社では、日頃から技術文書や図面などを事業所や企業間でレビューする機会が多くあります。これまで、複数の関連部門と、セキュリティを考慮しながら、サーバーのソリューションと Acrobat をうまく連携させて、レビューを効率化してきました。蓄積された技術文書や図面の記録は、設計トレーサビリティや人材育成にも寄与しますので、相乗効果は計り知れないものとなります。今後も、多くの顧客やパートナー会社、関連会社・部門と、セキュリティ等を考慮しながら、グローバルでやりとりする機会が増えてきますので、世界中で同じように使用できる Acrobat の良さと、PDF をベースにした技術文書や図面のレビュー（コメントのやりとり）の便利な点を改めて認識しています。今回の新しいリリースでは、まずユーザーインターフェイスが新しくなり、複数人数による注釈も一覧表示されるので、さらにコメントの確認が容易になりました。また、Acrobat X Pro で利用できるアクションウィザードを使って、日常的な作業を効率化できる点にも期待を寄せています」

アドビ システムズ社 デジタルエンタープライズソリューションズグループの Acrobat 担当バイスプレジデント兼ゼネラルマネージャー、ケビン M. リンチ（Kevin M. Lynch）
「今日、以前にも増して多くの人々が、組織外の人々と確実かつ高度なレベルで、コミュニケーションやコラボレーションを行う必要にせまられています。Acrobat X は、こうしたダイナ

ミックな状況に対するアドビ システムズ社からの回答であり、今日のスピード感にあふれた複雑なビジネス環境で、よりスムーズなコラボレーションを促進し、より豊かなユーザー体験を提供します」

Gilbane Group コラボレーション & エンタープライズソーシャルソフトウェア担当主席アナリスト ラリー ホーズ (Larry Hawes) 氏

「コラボレーティブな文書とは、今まさしく実現しつつある明確なビジョンにもとづいたコラボレーションのためのコンテンツモデルです。私がこれまで見てきた中で、おそらくこのビジョンを最も明確に具現化したものが、Adobe Acrobat の PDF ポートフォリオです。これによって、コンテンツ作成者は関連する複数のファイルを変更せずに 1 カ所に束ね、それを他者と共有できます。PDF ポートフォリオは、ファイル内の個々のファイル間の関係が定義され、プレゼンテーション内のスライドのように順序付けされる ZIP ファイルのようなものです」

国際的な建築設計事務所 HASSELL の最高情報責任者 ビルルー (Bill Rue) 氏

「Acrobat X の先進的な Microsoft SharePoint 機能を使用することで、文書をワークフロー内へシームレスに組み込むことができ、プロジェクトの簡素化とともに、適材適所でプロジェクトに従事させることができます」

不動産や資産管理で有名な Bell Alliance のマネージングパートナー ロン アッシュー (Ron Usher) 氏

「Acrobat X のアクションウィザードにより、当社の従業員は時間のかかる作業の多くを、ワンステップのシンプルなプロセスへと変えることができるようになります。今回の最新版で、アドビ システムズ社は、充実した機能の提供と、見やすい最新のインターフェイスによる直感的なアプリケーションの実現との間で最高のバランスを見出しました」

製品提供開始予定

■ Acrobat X Pro および Standard 日本語版

- ・ ダウンロード版 (アドビストアのみ) 2010 年 11 月 15 日 (月)
- ・ ライセンス版 2010 年 11 月 16 日 (火)
- ・ パッケージ版 2010 年 12 月 1 日 (水)

■ Acrobat X Suite 日本語版

- ・ ダウンロード版 (アドビストアのみ) 2010 年 11 月 24 日 (水)
- ・ ライセンス版 2010 年 11 月 24 日 (火)
- ・ パッケージ版 2010 年 12 月 10 日 (金)

■ Adobe Reader X 日本語版

- ・ 2010 年 11 月 15 日 (月)

キャンペーン

- ・ ADOBE ACROBAT X 発売記念キャンペーン

<http://www.adobe.com/jp/joc/store/acrobatx/>

2010 年 10 月 18 日～ 2010 年 12 月 10 日まで、Acrobat X の対象製品をアドビストアにて購入いただいた方にもれなく、送料無料+仕事に役立つ PDF フォームのテンプレート集をプレゼント

- わたしならこう使う！ ADOBE ACROBAT X

<http://www.acrobat-x.jp/>

Acrobat X の活用法や便利な機能を、実際のユーザーの声などを通してご紹介するキャンペーンサイト

Acrobat X ソリューション

- Acrobat X Standard
- Acrobat X Pro
- (新製品) Acrobat X Suite：Adobe Photoshop® CS5、Adobe Acrobat X Pro、Adobe Presenter 7、Adobe Captivate® 7、Adobe Media Encoder CS5、Adobe LiveCycle® Designer ES2 で構成されます。
- Adobe Reader X
- 最新の Adobe SendNow とオンライン上で PDF 変換できる Adobe Create PDF を含む Acrobat.com サービス（日本での有償版の提供は 2011 年を予定）

アドビストア価格（税込、送料別）

Adobe Acrobat X Standard (Windows 版)

■通常版	36,540 円	(本体価格 34,800 円)
■アップグレード版※ 1	19,110 円	(本体価格 18,200 円)

※ 1 アップグレード版の対象ユーザーは、Acrobat 7.0 Standard、Acrobat 8 Standard、Acrobat 9 Standard の日本語版正規登録ユーザー。

Adobe Acrobat X Pro (Windows 版 /Mac OS 版)

■通常版	57,540 円	(本体価格 54,800 円)
■アップグレード版※ 2	25,410 円	(本体価格 24,200 円)
■特別提供版※ 3	25,410 円	(本体価格 24,200 円)
■学生・教職員個人版	19,530 円	(本体価格 18,600 円)

※ 2 アップグレード版の対象ユーザーは、Acrobat 7.0 Professional、Acrobat 8 Professional、Acrobat 9 Pro の日本語版正規登録ユーザー。

※ 3 特別提供版の対象ユーザーは、Acrobat 3D、Acrobat 3D Version 8、Acrobat 9 Pro Extended、Acrobat 7.0 Standard、Acrobat 8 Standard、Acrobat 9 Standard、Acrobat X Standard の日本語版正規登録ユーザー。

Adobe Acrobat X Suite (Windows 版)

■通常版	151,200 円	(本体価格 144,000 円)
■特別提供版※ 4	110,145 円	(本体価格 104,900 円)

※ 4 特別提供版の対象ユーザーは、Acrobat 7.0 Professional、Acrobat 8 Professional、Acrobat 9 Pro、Acrobat X Pro、Acrobat 3D、Acrobat 3D Version 8、Acrobat 9 Pro Extended、Captivate 3、Captivate 4、Captivate 5、Photoshop CS3、Photoshop CS4、Photoshop CS5、Photoshop CS3 Extended、Photoshop CS4 Extended、Photoshop CS5 Extended の日本語版正規登録ユーザー。

必要システム構成

Adobe Acrobat X Standard (Windows 版)

- 1.3GHz 以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft® Windows® XP Home、Professional、Tablet PC Edition (32-bit 版および 64-bit 版；32-bit 版は Service Pack 3、64-bit 版は Service Pack 2) 日本語版、Windows Server® 2003 (32-bit 版および 64-bit 版；64-bit 版は Service Pack 2 が必要) 日本語版、Windows Server 2008 または 2008 R2 (32-bit 版および 64-bit 版) 日本語版、Windows Vista Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate、Enterprise (32-bit 版および 64-bit 版、Service Pack 2) 日本語版、Windows 7 Starter、Home Premium、Professional、Ultimate、Enterprise (32-bit 版および 64-bit 版) 日本語版
- Internet Explorer® 7 または 8; Firefox® 3.5 または 3.6
- 512MB 以上の RAM (1GB 以上を推奨)
- 1.1GB 以上の空き容量のあるハードディスク
- 1,024x576 以上の解像度をサポートするディスプレイ
- DVD-ROM ドライブ
- ビデオハードウェアアクセラレーション (オプション)

ご注意：

- 上記必要システム構成は、本製品をインストールするための最低必要なシステム要件です。お使いのオペレーティング システムや環境などにより異なる場合がありますのでご注意ください。
- 製品に関する注意事項や制限事項については、<http://www.adobe.com/jp> のホームページを必ずご覧ください。

Adobe Acrobat X Pro (Windows 版)

- 1.3GHz 以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft® Windows® XP Home、Professional、Tablet PC Edition (32-bit 版および 64-bit 版；32-bit 版は Service Pack 3、64-bit 版は Service Pack 2) 日本語版、Windows Server®2003 (32-bit 版および 64-bit 版；64-bit 版は Service Pack 2 が必要) 日本語版、Windows Server 2008 または 2008 R2 (32-bit 版および 64-bit 版) 日本語版、Windows Vista® Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate、Enterprise (32-bit 版および 64-bit 版、Service Pack 2) 日本語版、Windows 7 Starter、Home Premium、Professional、Ultimate、Enterprise (32-bit 版および 64-bit 版) 日本語版
- Internet Explorer 7 または 8; Firefox 3.5 または 3.6
- 512MB 以上の RAM (1GB 以上を推奨)
- 1.9GB 以上の空き容量のあるハードディスク
- 1,024x576 以上の解像度をサポートするディスプレイ
- DVD-ROM ドライブ
- ビデオハードウェアアクセラレーション (オプション)

ご注意：

- 上記必要システム構成は、本製品をインストールするための最低必要なシステム要件です。お使いのオペレーティング システムや環境などにより異なる場合がありますのでご注意ください。
- 製品に関する注意事項や制限事項については、<http://www.adobe.com/jp> のホームページを必ずご覧ください。

Adobe Acrobat X Pro (Mac OS 版)

- ・ インテル® プロセッサ
- ・ Mac® OS X v. 10.5.8 または 10.6.4 日本語版
- ・ Safari® 4 または Safari 5(Safari5 は Mac OS 10.6.4 が必要)
- ・ 512MB 以上の RAM(1GB 以上を推奨)
- ・ 1.2GB 以上の空き容量のあるハードディスク
- ・ 1,024x768 以上の解像度をサポートするディスプレイ
- ・ DVD-ROM ドライブ

ご注意:

- ・ 上記必要システム構成は、本製品をインストールするための最低必要なシステム要件です。お使いのオペレーティング システムや環境などにより異なる場合がありますのでご注意ください。
- ・ 製品に関する注意事項や制限事項については、<http://www.adobe.com/jp> のホームページを必ずご覧ください。

Adobe Acrobat X Suite (Windows 版)

- ・ 1.3GHz 以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- ・ Microsoft® Windows® XP Home、Professional、Tablet PC Edition (32-bit 版および 64-bit 版; 32-bit 版は Service Pack 3、64-bit 版は Service Pack 2) 日本語版、Windows Server® 2003 (32-bit 版および 64-bit 版; 64-bit 版は Service Pack 2 が必要) 日本語版、Windows Server 2008 または 2008 R2 (32-bit 版および 64-bit 版) 日本語版、Windows Vista® Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate、Enterprise (32-bit 版および 64-bit 版、Service Pack 2) 日本語版、Windows 7 Starter、Home Premium、Professional、Ultimate、Enterprise (32-bit 版および 64-bit 版) 日本語版
- ・ Internet Explorer 7 または 8; Firefox 3.5 または 3.6
- ・ 2GB 以上の RAM
- ・ 4.3GB 以上の空き容量のあるハードディスク (32-bit 版)、または 5.1GB 以上の空き容量のあるハードディスク (64-bit 版)
- ・ 1,024x768 以上の解像度をサポートするディスプレイ
- ・ 2 層式対応の DVD-ROM ドライブ
- ・ ビデオハードウェアアクセラレーション (オプション)

ご注意:

- ・ 上記必要システム構成は、本製品をインストールするための最低必要なシステム要件です。お使いのオペレーティング システムや環境などにより異なる場合がありますのでご注意ください。
- ・ 製品に関する注意事項や制限事項については、<http://www.adobe.com/jp> のホームページを必ずご覧ください。

Adobe Reader X (Windows 版)

- ・ 1.3GHz 以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- ・ Microsoft® Windows® XP Home、Professional、または Tablet PC Edition (32-bit 版および 64-bit 版; 32-bit 版は Service Pack 3、64-bit 版は Service Pack 2) 日本語版、Windows Server® 2003 (32-bit 版および 64-bit 版; 64-bit 版は Service Pack 2 が必要) 日本

語版、Windows Server 2008 (32-bit 版および 64-bit 版)、Windows Server 2008 R2 (32-bit 版および 64-bit 版) 日本語版、Windows Vista® Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate、または Enterprise (Service Pack 2、32-bit 版および 64-bit 版) 日本語版、Microsoft Windows 7 Starter、Home Premium、Professional、Ultimate または Enterprise (32-bit 版および 64-bit 版) 日本語版

- 256MB 以上の RAM (512MB 以上を推奨)
- 295MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- 1,024x576 以上の解像度をサポートするディスプレイ (1,024x768 以上を推奨)
- Internet Explorer 7 または 8; Firefox 3.5 または 3.6
- ビデオハードウェアアクセラレーション (オプション)

Adobe Reader X (Mac OS 版)

- インテル® プロセッサ
- Mac® OS X v. 10.5.8 または 10.6.4 日本語版
- 512MB 以上の RAM
- 415MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- 800x600 以上の解像度をサポートするディスプレイ (1,024x768 以上を推奨)
- Safari 4 または Safari 5 (Safari 5 には Mac OS 10.6.4 が必要)

関連リンク (英語)

- Acrobat X の新機能 トップ 10
<http://tv.adobe.com/watch/i-didnt-know-acrobat-could-do-that-loris-top-10-for-acrobat-x/>
- Adobe TV : ブラッドアーキン (Brad Arkin) による保護モードの詳細
<http://tv.adobe.com/go/7985>
- Adobe TV : リックトレイトマン (Rick Treitman) によるサービスの未来への洞察
<http://tv.adobe.com/go/7984>
- Adobe TV : Acrobat X に関するユーザービデオ : Bureau Veritas
<http://tv.adobe.com/watch/loris-corner/bureau-veritas-acrobat-x>
- Adobe TV : Acrobat X に関する顧客ビデオ : Universal Mind
<http://tv.adobe.com/go/7990>
- Acrobat のブログ
<http://blogs.adobe.com/acrobat/>
- Acrobat の Twitter アカウント
<http://twitter.com/Acrobat>
- Acrobat のユーザーコミュニティ
<http://acrobatusers.com/>

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に革新をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

© 2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Photoshop、Adobe Captivate、Adobe LiveCycle は Adobe Systems Incorporated の米国ならびに他の国における商標または登録

商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。